

平成29年度 第2回北秋田市総合教育会議 会議録

1. 開催期日 平成29年11月29日（水）
2. 開催場所 北秋田市市民ふれあいプラザコムコム 大研修室
3. 開会及び閉会 開会：午後1時00分 閉会：午後2時23分
4. 出席者 北秋田市長 津谷 永光
＜北秋田市教育委員会＞
教育長 佐藤 昭洋
委員 永井 高道
委員 佐藤 正俊
委員 吉田 美樹
委員 小林 真
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 ＜教育委員会事務局＞
教育次長 松橋 久司
総務課長 金澤 聡志
学校教育課長 佐々木 馨
生涯学習課長 宮腰 正樹
スポーツ振興課長 水木 正範
総務課総務係長（書記） 畠山 久子
7. 案件 (1) 平成29年度主要教育施策の実施状況（上半期）及び
平成30年度における教育に関する重点施策について
(2) 意見交換

8. 会議録

松橋教育次長	<p>ただいまから、平成29年度第2回北秋田市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>はじめに、津谷市長よりごあいさつをお願いいたします。</p>
津谷市長	<p>今年度、第2回北秋田市総合教育会議の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>教育委員の皆様には、日頃より当市の教育行政の発展にご尽力いただいておりますことに心から感謝申し上げる所でございます。</p> <p>今年6月に開催いたしました、第1回総合教育会議におきましては、教育大綱の第3次北秋田市社会教育中期計画の策定及び、教育施策等について、大変活発なご意見をいただき感謝申し上げます。</p> <p>その中で、ご意見をいただきました校務支援システム導入につきましては、10月下旬までに各種の設定を終えまして、11月から12月にかけて各学校での機能等操作説明会を開催することといたしまして、今後も職務別の研修や、新年度からのシステム活用に向けて準備が、お陰様をもって順調に進んでいるところでございます。</p> <p>また、国立市との交流につきましては、今年3日の国立市の市政50周年記念式典にお招きをいただきまして、両市のさまざまな分野の交流をより発展させて、相互のまちの発展と振興を目指すことを目的とした共同宣言を行わせていただきました。</p> <p>先立ちまして、佐藤教育長をはじめ教育委員の方々にも総合教育会議などを視察されておりまして、本当にありがとうございました。今後も両市の友好関係をさらに深めながら、教育行政の発展に繋げて参りたいと考えているところでございます。</p> <p>本日の会議では、今年度の各種事業の進捗状況と来年度の重点施策が議題の中心となりますが、施策推進のために様々なご意見ご提言を賜りますよう心からお願い申しあげまして、開会のご挨拶といたします。本日はよろしくをお願いいたします。</p>
松橋教育次長	<p>どうもありがとうございました。続きまして、佐藤教育長よりごあいさつをお願いいたします。</p>
佐藤教育長	<p>皆様、こんにちは。第2回目の総合教育会議の案件の前に、私から1回目以降の主な動きについて報告いたします。詳細については、会議の中で各課長から報告いたします。</p>

<p>佐藤教育長</p>	<p>総務課関係についてでございますが、施設設備については、鷹巣南小学校プール塗装工事、綴子小学校暖房設備改修工事、阿仁中学校の外壁補修工事等、主要工事が完成しております。また、鷹巣北部学校給食センターの外壁張替工事と食器洗浄機の更新が、夏休み期間内に完了し、8月25日の2学期始業から順調に稼働しております。あきたりフレッシュ学園については、利用者数は13人、11月15日現在でございますが、そのうち市内の児童生徒は7人が利用しております。</p> <p>県教委と連携して実施している教育留学推進事業については、「短期チャレンジ留学I」が、首都圏を中心に29名の小学生の参加を得て、8月25日から30日までに5泊6日の日程で開催されました。いかだ下りや野外炊飯などの体験活動を行うと共に、2日間にわたり合川小学校で、市内の子ども達と一緒に授業も体験しました。長期留学には7名の児童生徒が参加しており、期間の長い生徒で約8ヶ月間利用しております。今後更に4名の児童生徒からの申し出を受けております。</p> <p>学校教育課関係ですが、4月18日に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が発表されましたが、国語と算数数学に係る本市の状況は、小学校6年生、中学校3年生ともに全ての種目で全国の平均正答率を上回っており、秋田県と比較しても小学校は4種目のうち3種目が、中学校は4種目全てが秋田県の平均以上となっており、大変良好な状況であると捉えております。10月23日から11月16日までの期間に市内全ての小中学校を教育委員学校訪問として訪問し、全ての学級の授業を視察しましたが、新しい学習指導要領に打ち出された主体的・対話的な深い学び、いわゆるアクティブラーニングが沢山の授業で見ることができまして、高いレベルの学校経営が実践されていることを実感することができました。</p> <p>8月23日に4回目の「いじめゼロサミット」を開催しました。各小中学校の代表児童生徒が、いじめ問題に対して自分達の生活を振り返り、よりよい生活を目指して、一人一人ができること、みんなでできることについて意見交流を行いました。保護者や市民の皆さんも参観し、小中学生の真剣な話し合いに見入っておりました。この度、県から、ぜひ全国のいじめサミットに本市から児童生徒を出してほしいと要請がございまして、この後行われる全国のいじめサミットに合川中学校の生徒と教員を参加させる予定です。</p> <p>それから、「秋田県学校関係緑化コンクール」において、学校林等活動の部で鷹巣南小学校が東北森林管理局長賞、学校環境緑化の部で鷹巣南中学校が県森と水の協会会長賞、鷹巣東小学校が県山林種苗協同組合理事長賞を受賞しました。</p> <p>全県中学校駅伝大会では、鷹巣中学校女子が5連覇し、12月17日に滋賀県で行われる全国大会に出場する予定です。「県中学校秋季大会」では、新人相撲大会団体戦で合川中学校が、ソフトテニス団体戦で森吉中学校が見</p>
--------------	---

<p>佐藤教育長</p>	<p>事優勝しました。スポーツ少年団活動では、バレーの鷹巣南小学校チームが、東北大会で3位の成績を収めました。</p> <p>11月4日に行われた「秋田県発明展」で、合川小学校5年生が秋田県教育委員会教育長賞、鷹巣東小学校4年生が河北新報社賞を受賞し、いずれも第76回全日本学生児童発明くふう展に出品されます。</p> <p>多発する熊出没情報を受け、7月に北秋田警察署と猟友会による「熊対応教室」が市内全小中学校で行われました。教室では、熊に遭遇しない方法と、万が一、熊に遭遇した場合の対応、熊の特性や習性を学びました。</p> <p>生涯学習課関係につきましては、熊の出没について、伊勢堂岱遺跡で生涯学習課長が襲われるという事故がありましたが、今後、万全の対策をとり、来年度早々にも、遺跡公開の再開を期しているところです。</p> <p>子どもふるさと交流推進事業については、7月22日から24日まで、東京都国立市多摩川河川敷公園で行われた「国立まと火」会場に、合川小・中学生32人が北秋田市国立市交流プロジェクトとして交流を行いました。今年度は合川太鼓保存会による太鼓演奏を行い、まと火を背景に勇壮な演奏が来場者を魅了したところです。</p> <p>北秋田市の芸術文化の祭典である「北秋田市文化祭」を10月28日から30日まで、演示を文化会館、展示を鷹巣体育館にて開催しました。演示に48団体が出演し、展示に72団体が出展し、日頃の成果を披露しました。「浜辺の歌音楽祭」は11月3日に文化会館で開催し、市内の小中学校、コーラスグループなど19団体が出演し合唱を披露しました。全体合唱のほか記念演奏があり、国際コンクールのピアノ部門において第1位を獲得されたことがあるピアニスト松岡淳氏により記念演奏に観衆が魅了されました。</p> <p>民俗芸能の保存伝承事業として、北秋田市民俗芸能大会が8月20日、市民ふれあいプラザにて開催されました。これには、阿仁前田獅子踊保存会、福田獅子舞保存会、阿仁からめ節保存会、綴子大太鼓下町保存会の市内4団体のほか、市外から能代市の富根報徳番楽保存会が民俗芸能を披露しました。詰めかけた約300人の観客は、多彩な演目に見入っていました。</p> <p>スポーツ振興課関係では、北秋田市体育協会による「第12回北秋田市スポーツレクリエーション大会」が9月10日のソフトボール競技を皮切りとし、11月23日までの間で16団体16競技が実施され、各競技とも熱戦が繰り広げられました。</p> <p>9月24日には「2017北緯40°秋田内陸リゾートカップ第27回100キロチャレンジマラソン大会」が開催され、全国から1,469名ランナーが参加しました。</p> <p>10月1日に行われた「第4回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン!男鹿大会」では、北秋田市チームは過去最高順位の4位入賞を果たしました。</p>
--------------	---

佐藤教育長	<p>結びとなりますが、教育委員会では、学校教育で心豊かで逞しい人間性を育む教育の推進を基本理念とし、生涯学習で学びを通じた協働による地域づくりを基本目標、スポーツ振興課で生涯スポーツを通じた活力あるまちづくりの推進を基本理念とし、ひとづくり、地域づくりを進めてきました。ここ市民ふれあいプラザが竣工して約1年と半年が過ぎました。その入館者数は、昨年度は約23万6千人、今年度は一昨日までで17万6千人にも上ります。約3万3千人の地方都市にあって、この入館者数は驚くべき数字だと感じています。播いた種がどの様に結実していくかは、私達事務局の育て方によるところが大きいと考えます。私達の取組が、ひとづくり地域づくりに一層効果的に働くよう、来年度の方向性について忌憚のないご意見をいただけるよう、よろしく願いいたします。</p>
松橋教育次長	<p>どうもありがとうございました。続きまして、早速、案件に入らせていただきます。「北秋田市総合教育会議運営要綱」により、議長は市長が行うこととなりますので、津谷市長に案件の進行をお願いしたいと思います。それでは、津谷市長、よろしく願いします。</p>
津谷市長	<p>それでは、要綱に基づいて、議長を務めさせていただきますので、皆さん、ご協力をお願いいたします。</p> <p>では、案件(1)北秋田市教育大綱に基づく平成29年度実施状況及び平成30年度実施予定について、事務局から説明いたします。</p>
金澤総務課長	<p><案件(1)説明></p>
津谷市長	<p>それでは、資料に沿って、各担当課長から、教育大綱区分と重点目標ごとに説明をお願いします。では、学校教育編からお願いします。</p>
佐々木学校教育課長	<p><資料：学校教育編 説明></p>
津谷市長	<p>ありがとうございました。それでは、ただいま説明のありました内容について、何かご意見、ご質問等ございませんか。ないでしょうか。では、あとでも受け付けますので次に進みます。</p> <p>次に生涯学習編の説明を、生涯学習課長からお願いします。</p>
宮腰生涯学習課長	<p><資料：生涯学習編 説明></p> <p>重点目標【生涯スポーツ】はスポーツ振興編にて説明のため省略。</p>

津谷市長	<p>ありがとうございました。それでは、ただいま説明のありました生涯学習編について、何かご意見、ご質問等ございませんか。ありませんか。では、あとでも受け付けますので次に進みます。</p> <p>次にスポーツ振興編に入らせていただきます。説明を、スポーツ振興課長からお願いします。</p>
水木スポーツ振興課長	<p><資料：スポーツ振興編 説明></p>
津谷市長	<p>ありがとうございました。それでは、ただいま説明のありましたスポーツ振興編について、何かご意見、ご質問等ございませんか。ないでしょうか。</p> <p>それでは、それぞれの教育大綱については説明を終わらせて頂きますが、(2)の意見交換に入らせて頂きますので、ただいまの説明あったことを含め、テーマを限定しないで、北秋田市の教育について皆様方から忌憚のないご意見ご提言をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p>
佐藤委員	<p>よろしいでしょうか。</p>
津谷市長	<p>佐藤委員。</p>
佐藤委員	<p>前にも話をしましたが、スポーツ振興課に。本市職員の中に競技で活躍した人が沢山いるわけで、その名簿はできているでしょうか。</p>
津谷市長	<p>スポーツ振興課長から。</p>
水木スポーツ振興課長	<p>できています。早速調査し作成しています。</p>
佐藤委員	<p>ありがとうございます。内容はあとで聞きますが、名簿ができた後をどうするかですね。例えば、スポーツ振興課が先になって、すばらしい選手経験のある人を集めて話し合いをしながら夢というか、子ども達に夢を持たせたり、スポーツイベントに参加させたりと、そういうことをしていかないと、せっかくの宝の持ち腐れというか。例えば、箱根駅伝経験、企業での経験、クロスカントリー選手では国体出場の経験、フェンシングではオリンピック出場経験者、アルペンスキーではインカレで好成績を収めて国体選手にもなっている。出場しやすい環境を準備してやらないといけないのではないだろうかと思っている。その辺を教えてほしい。</p>

津谷市長	水木スポーツ振興課長。
水木スポーツ振興課長	市職員500名ほどいますが、この中で調査したところ、全国大会以上経験者は22名います。種目は陸上、バスケット、バレー、クロスカントリー、アルペン、コンバインド、フェンシング、野球、ソフトテニスというところ。現在も競技に携わって指導している人もいますし、丸きりやっていない人もいますかと思いますが、調査した結果は以上でありました。今後、この人達を巻き込んでいくかは考えているところですが、まだ結論が出ていないところでもあります。スポーツ少年団、社会体育の方になってしまいますが、来月か再来月、スポーツ少年団の指導者を集めた交流会をやりたいと考えています。今までやっていなかったのですが、やっていきたい。この方達の実験を得られれば、携わっていない方もいるが、そうした会に参加して頂いて、経験を指導者の方々にお話しして頂くのも一つの手と考えていますが、それ以上のことはまだ計画していないところです。
佐藤委員	その方も課に所属しているわけで、課が出やすい環境にあれば。仕事はやらないといけない、子どもや市民の講演とかにも出なければならない、とても忙しくなって、嫌がられる様な環境でなく、出やすい環境をトップが作らないと難しいのではないかなと思います。先月、阿仁合小学校で講演している職員もいる。保護者も地域の方も来られて聞いていたようでしたが、せっかくすばらしい選手達がいるのでできれば活かしてほしいと感じています。早い時期に。
水木スポーツ振興課長	わかりました。ありがとうございます。
津谷市長	その方々の中で、現役で頑張っている人はいるでしょうか。
水木スポーツ振興課長	現役選手は、大会の程度の高い低いはありますが、結構な方々はやっています。ただ特殊な競技、例えばフェンシングとかは、やらないで指導をしているというところ。ところ。ところ。
津谷市長	では、ほかに。永井委員。
永井委員	資料7ページに関連してですが、生涯学習編の芸術文化について、郷土出身の芸術家に坊沢出身の戸嶋靖昌画伯がいます。地域の声として、市としてもっとクローズアップしてもらえないかというのがあります。北秋田市の対応が低いのではないかな。大館の博物館で展示されている割には、市の対応が足りないのではないかな。中には、戸嶋さんの作品が郷土にどの位残っている

永井委員	<p>るのかという質問があつて、私もよくわからない。このことに関して、今回久しぶりの作品展示ということで地域の方が関心を持たれている。一方で、渡辺喜恵子さんはどういった作家なのか、市民から忘れられていく傾向にあり、みちのく子ども風土記館の運営等もマンネリ化している。これに対してもてこ入れをしてほしいという声がある。私の住んでいるところでは五義民碑の周辺の維持管理に関して、戸嶋家の代表の方が管理人として一応はなっているけれど高齢化して近所の人に草刈りを依頼されていて、その人も年を取って保証できない、何とかしてくれないか、というのが巡り巡って私に話が来た。この先に坊沢の自治会行事があつて、このとき自治会に要請していくが、そういう記念碑の維持管理について、もう少し積極的に関わっていかないといろいろな管理が不十分になる。私が参考にしているのは七日市のおさるべ元気クラブの活動ですが、いろいろな補助金助成金が出て活動資金になっているし、クラウドファンディング等で資金を集めたりしている動きがあるのですが、北秋田市の行政の力に全て委ねるのはいろんなところで課題、限界があると思う。要望を出している人達の声と地域の協力出来る体制とかを結び付けて一つの動きを少しずつ形作っていかないと、後で、もう少し早目にやっておいたほうがよかったということにならないかと。私も地域の方には声をかけますけれども、生涯学習課としても対応していただければと思っています。</p>
津谷市長	生涯学習課長。
宮腰生涯学習課長	<p>戸嶋靖昌さんにつきましては、大館の博物館にいつて参りました。そのあと、絵の所有者だという方がみえて、寄贈するとすればどうしたいかという照会があり、併せて、展示できる環境があるかということで、北秋田市文化会館の展示室をご覧になってもらいました。空調、照明など設備的なところと、永井先生から市民の関心の具合のところでお話しされましたが、専門の施設でないと中々管理が厳しいようでした、見てはもらいましたがその後の返事や連絡は取っておりません。渡辺先生については、馬淵川など作品がたくさんある中で、文化会館の地下の展示室にも作品や愛用したものを展示していたところでしたが、一緒に展示していたものが縄文館に移ったため、展示室を閉鎖していて、市民に忘れ去られているといった心配な話が出ています。これから展示室の活用に向け、着手して参ります。五義民碑を含む様々な文化財につきましては、七日市元気クラブ、伊勢堂岱ワーキンググループの様に、行政だけではできないところを市民の方々とやっていかないと、本当の意味での活用、情報発信をできないと思います。坊沢の所有者の方や心ある方が多数いらっしゃると思いますので組織作りの声かけからやっていきたいと思っています。</p>

永井委員	ありがとうございます。
津谷市長	<p>戸嶋靖昌画伯については、絵を所有されている田中さんが清澄画廊の方で、大館の博物館にはその方から買われて無料で展示していると。田中さんと私はこの夏お会いしまして、北秋田市にも所有してもらってと。ただでもいいのだけれども展示してとすると、場所がないので文化会館の一室で、入れ替え制でいいから、お借りして展示するとか、先ずは、戸嶋靖昌さんのことを北秋田市民の方々に知っていただくこと。NHKの日曜美術館でとりあげられてから、非常にブレイクしまして、特に北秋田の関係者の方々、ふるさと会の方々から言われております。戸嶋さんの晩年をサポートしてくれた執行草舟さんという大実業家がおります。その方がパトロンみたいになって、自分の会社の建物の中に、戸嶋さんの絵を飾る博物館的なものを作って展示していると。しかも学芸員も置いてと。しかもスペインの大使館とかそういった方々から後押しをして頂いて、私もそこに行って来ましたが、なかなか一般の人にはできないと思いますが、行政としてもその絵を買ってどうというのは評価の分かれるところでありますね。できれば、お借りして一定期間展示して本物を見てもらうとかもありますので、その辺は生涯学習課の方に研究して頂ければありがたいと思います。</p> <p>また、渡辺喜恵子さんについては、私が子どもの頃にみちのく子ども風土記という本を読ませてもらいましたが、鷹巣の事を書いている。子ども風土記館がある位置が原っぱで、よく子ども達が遊んでいた。昔のいろんな遊びとか風物とかが書かれた本ですので。おそらく今、鷹巣にしても北秋田の子ども達にしても、本は読まれていないのかなと。我々にしてみれば遙か昔の話なので、当時の北秋田はどうであったかを知る事はいい機会になる本なのではないかと。そうして頂くと、こども風土記館も生きてくるのかなと。渡辺喜恵子さんは、魁文学賞だったかに寄付されてやっておりますけれども、そういう繋がりがあるということは理解してもらいたいと思っているところですので、そういうこともやってみてはいかがかなと。</p>
小林委員	ホームページでも特集すればよいのでは。
津谷市長	そうですね。
小林委員	地元の人についての情報など。
津谷市長	司会進行役がしゃべってしまいました、ほかに。永井委員。
永井委員	この前の事業評価のところで、浜辺の歌音楽館の成田為三ロボットが故障続きで何とか展示するのを止めて、人々が幅広く集えるようなホールにして

永井委員	<p>しまったらどうかという声があるように聞いておりますけれども、私はそういうことも考えると同時に、成田先生の作品というと、浜辺の歌と、歌を忘れたカナリヤと、ごく一部の作品の発表くらいで終わってしまっていて、音楽家としての全体像を理解している市民がほとんどいないのではないかと思います。かなりレベルの高いすばらしい音楽家で、そういうところをある程度の時間をもって音楽祭のところで演奏してもらうとか、もう一つ何かを。事業予算とかは限られているでしょうけれども、そういうことをしないと、なかなか深まらないのではないかと、そういう感じがします。</p>
小林委員	<p>それを研究している研究家はいないのでしょうか。</p>
津谷市長	<p>生涯学習課長。</p>
宮腰生涯学習課長	<p>詳しい方ということですが、森吉町時代に名誉館長に就任した後藤惣一郎先生が任命されておりました。ご高齢ということで昨年息子さんからご辞退したいという連絡がありました。</p>
津谷市長	<p>今年亡くなりました。秋田県民歌にも関わっている。</p>
宮腰生涯学習課長	<p>音楽祭で成田先生の功績がもっと盛り込まれるようにということですがけれども、どういう形でやるとよいか、浜辺の歌音楽館運営委員会の方でも打ち合わせしていきたいと思います。</p>
津谷市長	<p>ほかにありますか。</p>
佐藤委員	<p>今後の事ですが総務に伺いたい。廃校になった学校の活用ですが、活用の仕方ということで、合川東小のように発掘されたものが展示されている、或いは、ここにはないが相撲場として活用されている。すばらしい発想ですね。今後、廃校になるだろう学校の活用管理は、ただ建物を解体するのではなくて、例えば鷹巣中央小、南小は統合は決まっているわけで耐震もできているし、そうすると、雪国にあっては、球技、野球の室内練習場がこの辺にないですね。</p>
金澤総務課長	<p>北鷹高校にはあります。</p>
佐藤委員	<p>高校にはあるのですね。小中学生、北秋田市の子どもが使える場所づくりが必要なのではと。耐震化しているのに、壊してしまってあと終わりではなくて、体育館も耐震化できているのであれば、中のものをもって土を入れて、冬場の野球練習ができたり、ネットをかけて使う予算と、壊す予算とどっち</p>

佐藤委員	<p>が得だろうか。大きな建物自体は解体しても、体育館を残して、地域にとって、子どもの声が聞こえる安心さというか、地域から何も無くなって子どもの声がなくなってしまったという寂しい思いをしているところもある。声が聞こえることで地域にあっては頑張っていける力が出てくるのではないかと思う。そういう活用ができないものかと。そのあとの事を考えた利用の仕方が必要でないかと思います。いかがでしょうか。</p>
津谷市長	<p>総務課長。</p>
金澤総務課長	<p>地域のスポーツのサークルなどでも夜の練習場所がないという話もありますし、そういうところで活用する団体があればいいと思います。鷹巣中央小学校、鷹巣南小学校は平成33年位から空きになると思いますので検討させて頂きたいと思います。</p>
津谷市長	<p>いろんな使い方があります。廃校舎とかを何かに使えないかといわれたときに耐震が持たないといっていて、よく言われるのが企業でも連れてくればいいのではないかということですが、耐震がないと断っているのですが、冬場の練習など、夏は外でやってもらうのですが、天候が悪いときに屋内を使えるので、野球だけでなく、仮に大館の樹海ドームまでとはいかなくても、規模は小さくともイベントも天候に左右されないでできる事も考えられるので、教育委員会だけでなく、ほかの、産業部を含めて検討していきたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>ほかにありませんか。はい、吉田委員。</p>
吉田委員	<p>成田為三先生についてのお話ですが、実は今、多分誰も聴いたことのない曲が一つあるのです。私が米内沢小学校で過ごしてきたことで、小学校では成田先生を毎年顕彰する会が学校主体で開かれていました。子ども達が成田為三先生の歌を歌ったり、PTAのコーラスのお母さん達が歌ったり、他校を招いて歌ってもらったり、一日がかりの大きなイベントで。その中に器楽合奏浜辺の歌によせてという曲が実はあるのです。小学校にある楽器、例えばリコーダーとかピアノとかアコーディオンとかを使って演奏し、特別なものを一切使っていないのです。正味長いです。楽譜で30ページくらいの気がします。それをいつの時代からか学校でやるのがなくなって、米内沢小学校のメインイベントだったのですけれど。高学年4、5、6年の子ども達が練習してやるのですが、浜辺の歌のピアノの伴奏から始まって、浜辺の歌が入って県民歌で締めくくる流れになっている曲です。私達は小学校の時から身に染みてきているのですが、ここ数年聞く事がない。編曲は後藤惣一郎先生だったと思うのですが。ぜひ何かきっかけがあれば復活して欲しいと思っておりました。正直、小学校単位ではもう難しいのではないかと思いますので</p>

吉田委員	すが、一度楽譜に目を通していただいて、きっかけがあれば、1、2年では大変でしょうけれど、浜辺の歌音楽祭もありますので、その中で披露できる機会があればいいと思っておりました。
宮腰生涯学習課長	まずは楽譜、ものを探すことから始めたいと思います。
佐藤教育長	今の話は中々厳しいと思います。音楽の時間の減少がありまして、学習指導要領が変わって音楽の時間がどんどん減っていった事で、取組ができなくなっていったと思います。これは、ふるさと学習の柱にするとか別の時間でやっていけるかどうか。生涯学習課長が始めると言っていますが、実際やるのは学校教育課なので。ここそ生涯学習課と学校教育課の連携が必要なところで、どうやって連携できるか検討していきたいと思います。
吉田委員	音源は私が持っていると思います。正直厳しいと思いますが、音源だけでも披露できればと思います。
佐藤教育長	浜辺の歌音楽祭に秋田市から来られた方がいて12回連続で毎回来ていると。こういう音楽祭はほかにない、感動したと。成田為三のことを調べていて、資料が送られてきたりしている。音楽祭のあと音楽館に行って、お墓にも行って来たそうです。
宮腰生涯学習課長	森吉の文化交流のつどいにも奥様がみえられた方です。森吉地区と成田先生に特別思い入れがある方なのかと思いました。
津谷市長	ほかにありませんか。
佐藤委員	新成人を祝う会についてですが、その年々によって、子ども達の態度が違うわけだが、せっかくよい講演をして頂いているのにふざけた態度で聞いているというのは何とかならないものかということです。式に来ている学校の先生達もそれを感じていっていると思います。子ども達が大きくなって成人を迎えるときに、祝う会の実行委員の方々が実行委員だけで計画するだけでなく、どう実行するのかも考えるような。何とかならないものか。北秋田市の子どもはいい子ども達だが、ちょっとした悪ふざけが気になるようになりましたので、その辺をみんなで祝う会をいいあंबいに進めてほしいものだと。崩れていくところがない成人式でありたいものだと思います。今回の成人式の反省会では何か意見が出たのでしょうか。
宮腰生涯学習課長	今年の成人式のあとに振り返りの会を行いまして、先日も行いました。成人の方から、ふざけて申し訳ないという言葉があったところでありました。

宮腰生涯学習課長	成人対象者は毎年変わるわけで、次の世代に繋げるのが生涯学習課の役目だと思っています。来年度にはこれまでのことを話ながら、いい成人式になっていくように導いていきたいと思っています。久しぶりに友達に会ってつい脱線してしまうようですが、来年度の時には伝えていきたいと思っています。
小林委員	前年の実行委員と今年の実行委員と話をすることがありますか。
宮腰生涯学習課長	ないです。
津谷市長	工夫が必要ですね。永井委員。
永井委員	新聞の投書で成人式を止めたらどうかというのがありましたが、若い人からそういう意見はありませんでしたか。
宮腰生涯学習課長	ないです。
津谷市長	ほかにないでしょうか。ではこの辺で意見交換は終わらせていただきたいと思っています。貴重なご意見をありがとうございました。案件は全て終了いたしましたので進行を事務局にお返ししたいと思います。
松橋教育次長	大変活発なご意見ありがとうございました。続いて次第5番のその他であります。なにかございますか。
佐藤委員	一つよろしいでしょうか。お礼だけ申し上げます。国立市への視察研修をありがとうございました。国立市の先生方がとても若く30代位で驚きました。行政も若かった。でも、北秋田市の子ども達が落ち着いているのは、ベテランが教えているからではないかと思います。若い先生とベテランの交流はとても大事であると。向こうから来たときに、お互いをみて勉強する、そういうエネルギーをもらえる交流をできたらいいと思いました。ありがとうございました。
松橋教育次長	ほかにありませんか。ないようであれば以上を持ちまして第2回北秋田市総合教育会議を閉会したいと思います。本日はありがとうございました。

(午後2時23分 閉会)